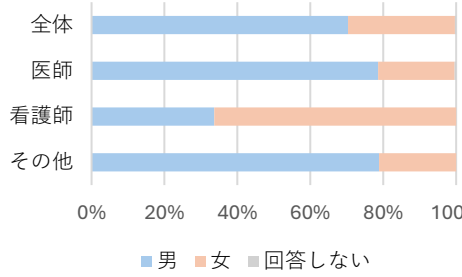


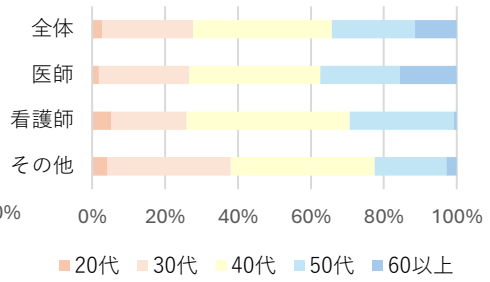
回答者職種 (計631名)

医師	446名
看護師	116名
理学療法士	26名
作業療法士	2名
臨床工学技士	27名
管理栄養士	6名
薬剤師	8名

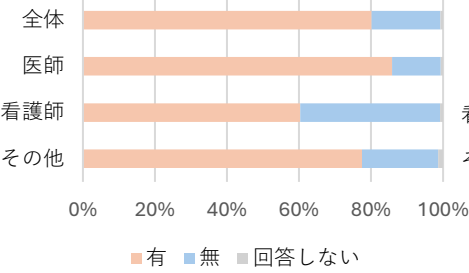
性別



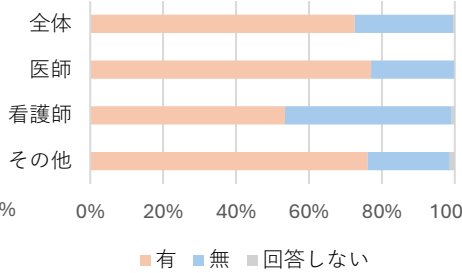
年齢



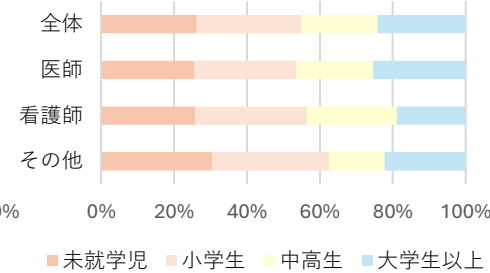
配偶者の有無



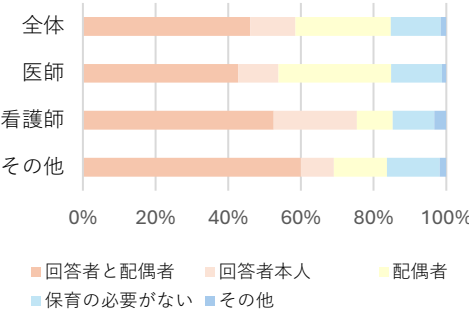
子の有無



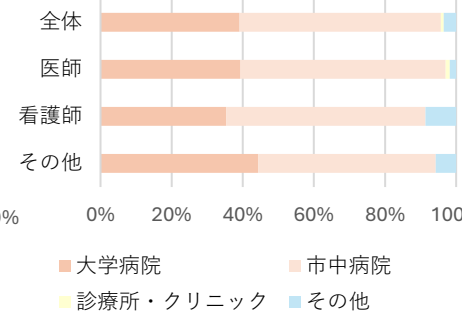
子の年齢



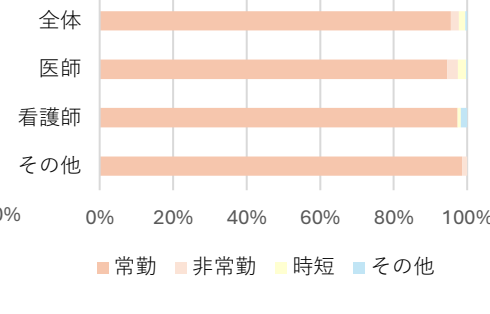
主な保育者



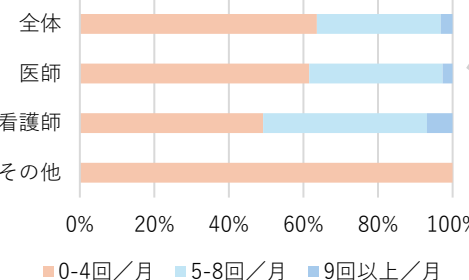
勤務先



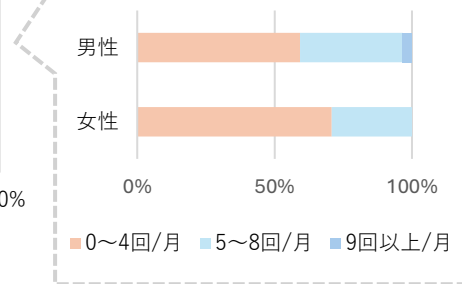
勤務形態



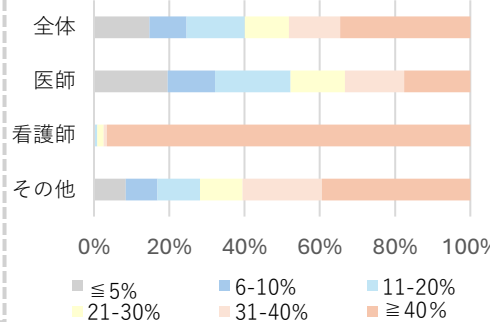
夜勤または当直回数



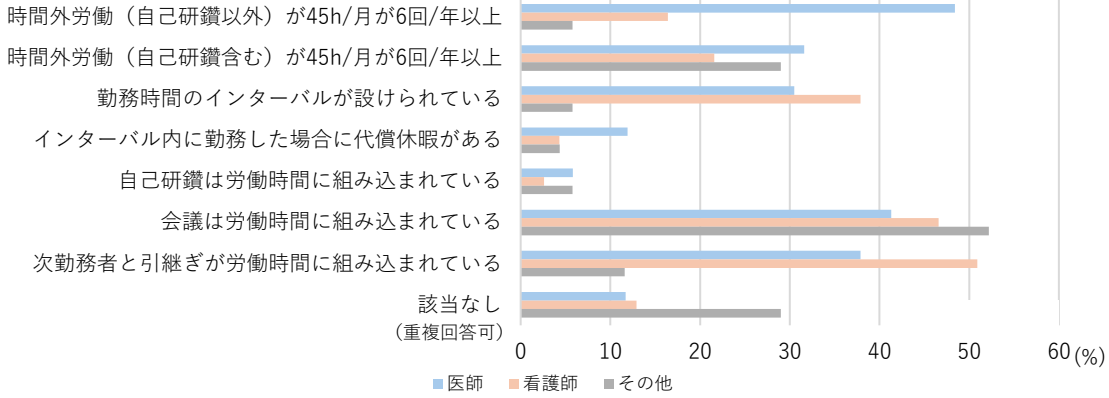
男女別 (医師)



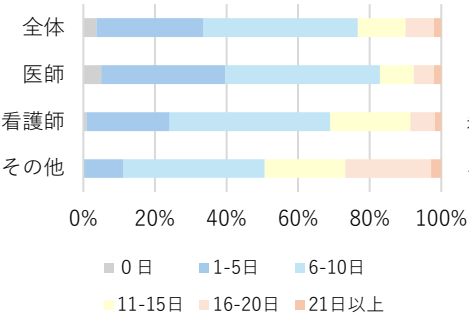
所属診療科・部署の女性割合



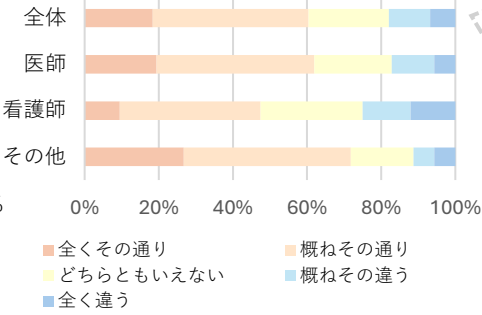
勤務について



昨年度の有給取得日数



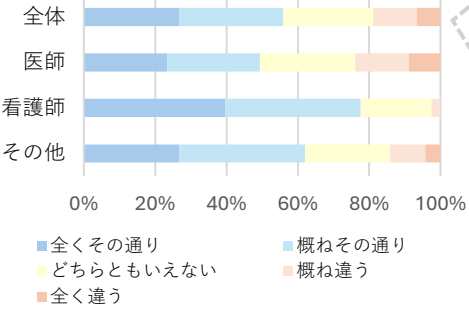
育児・介護休暇・有給休暇が希望通りに取得できるか



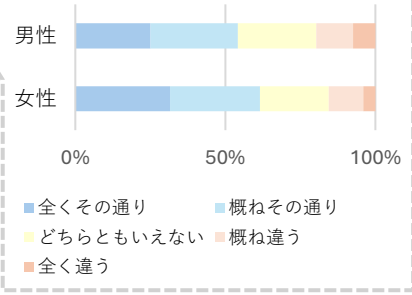
<概ね/全く違う理由>

- ・人員不足
- ・休むと診療にしわよせがくる
- ・管理者の理解がない
- ・勝手に有給消費される
- ・同僚への遠慮
- ・とれる雰囲気ではない
- ・産休育休者が優先される
- ・男性育休や介護休暇の認知度が低い
- ・管理職であり休みにくい 等

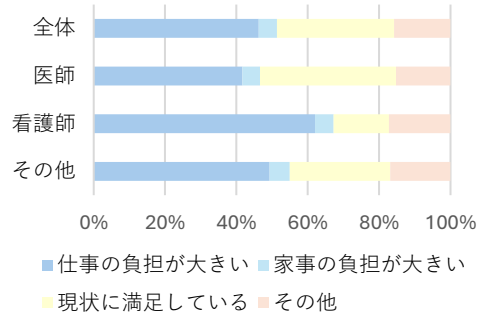
ワークライフバランスを考えて現在の働き方を変えたいか



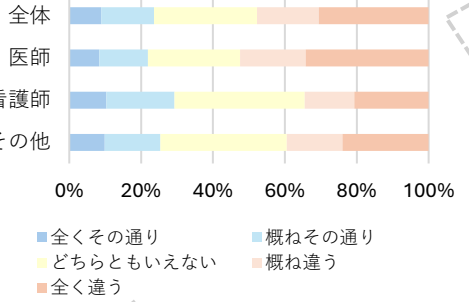
男女別（全体）



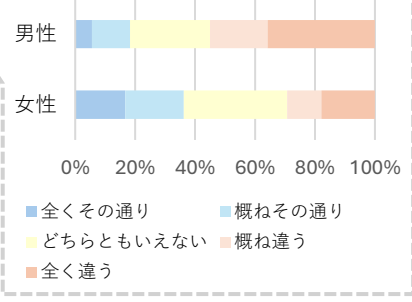
働き方を変えたい理由



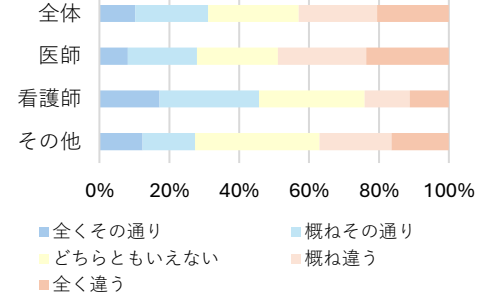
性別で働きにくさを感じたことがあるか



男女別（全体）



家庭の事情等で仕事を制限している人と共に働くことに働きにくさを感じるか



<その理由>

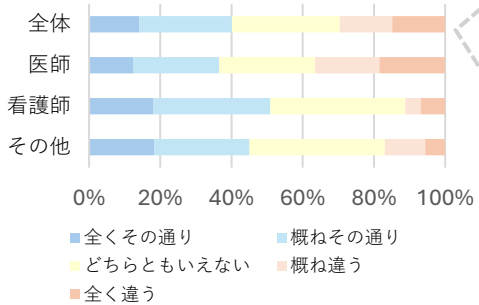
全く/概ねその通り

- ・職場の制度が整っている
- ・男女で業務量は同じ
- ・女性がいない
- ・性別での特性があり、違いがあって当然 等

全く/概ね違う

- ・子供がいる女性が当直が少ない等の業務軽減があり、男性に負担がある
- ・家事育児の負担は女性に多い
- ・女性の方が昇進が遅い
- ・配慮が必要
- ・男性育休や介護休暇への理解が進んでいない
- ・体力や体調の問題がある 等

年代の違いで働きにくさを感じたことがあるか

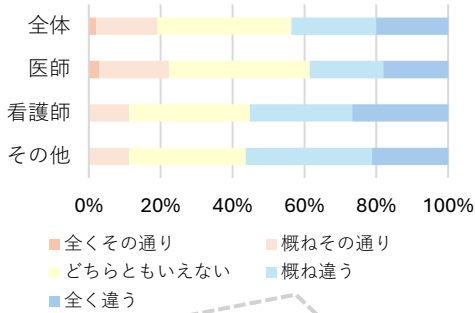
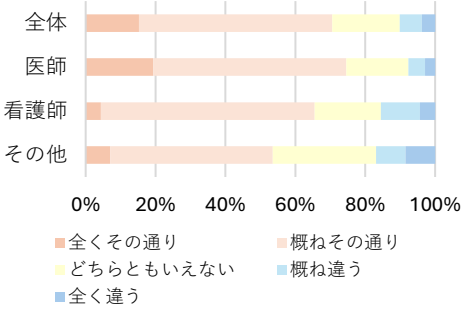


<概ね/全くその通りの理由>

- ・価値観や常識が異なる
- ・考え方が理解できない（されない）
- ・仕事内容に偏りがある
- ・中間管理職の業務負担が多い
- ・職位があがると責任と業務が増える
- ・若手の方が当直や業務が多い
- ・若手の業務時間が短く、上司の負担が多い
- ・年齢による当直回数などの配慮がない
- ・家庭を持つスタッフの勤務希望が優先される
- ・体力の低下がある
- ・上司に気を遣う
- ・若手への態度や口調に配慮が必要
- ・年功序列の風土がある
- ・スタッフの年齢層のバランスが悪い
- ・中間層の苦悩がある 等

職場において同職内のコミュニケーションは円滑か

タスクシフト・シェアが進み業務内容が改善したか



<成功例>

- ・看護タスク（血液ガス分析、早期リハビリ等）の他職種への移管
- ・非医療タスク（データ入力、書類作成等）の医療アシスタント（MA）への移管
- ・プロトコル（SBT/SAT等）による他職種の協力
- ・診療の一部を内科部門に移譲
- ・薬剤師・栄養士・リハビリ療法士の協力体制の確立
- ・救急医療技術者（EMT）の導入による、転院字の医師付き添い業務の削減
- ・技術タスク（麻酔機器の点検等）を臨床工学技士への移管

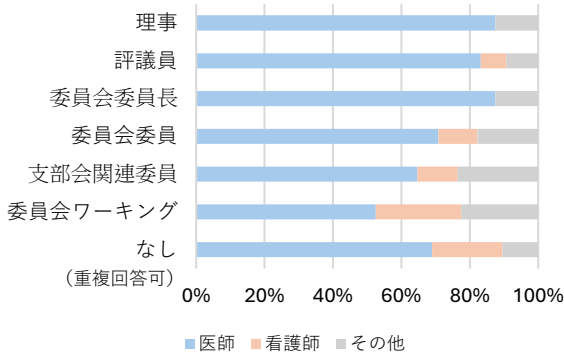
<問題点・課題>

- ・人員不足。夜間シフトをこなせる集中治療医の不足
- ・特定のスタッフ（看護師等）に負担が集中している
- ・経営陣や組織の理解とサポートが不足している
- ・業務負担により専門看護師の離職率が高い

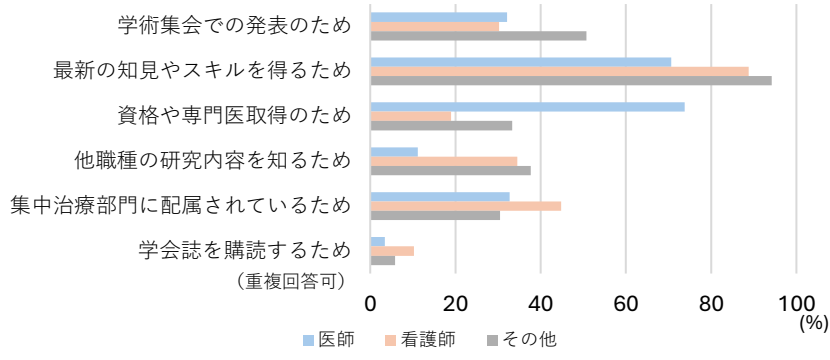
<成功するための提案>

- ・タスクシフティングを支える明確なプロトコルと組織構造の整備
- ・新しいタスクを担うスタッフへの教育が必要
- ・業務負担を公平にする
- ・多職種連携の強化
- ・タスクシフティングが、負担の移動ではなく、業務負担軽減につながることの保証
- ・業務負担の公平化と、業務負担に対する適切な報酬を支える政策の策定

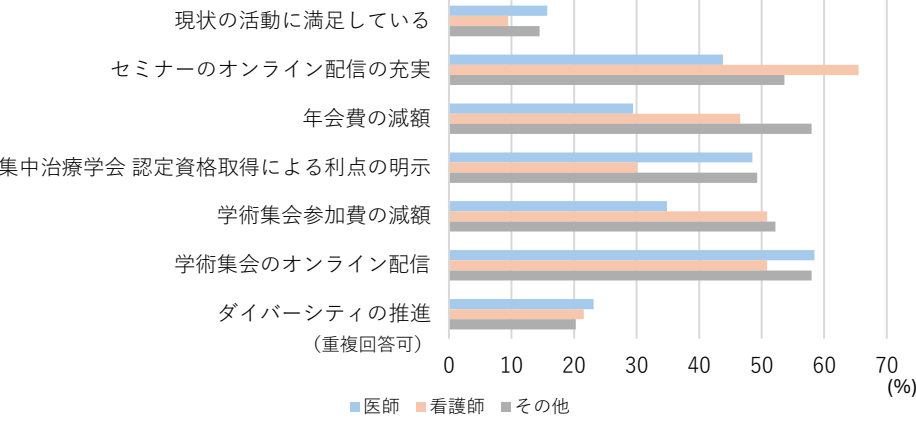
現在の集中治療医学会での役割



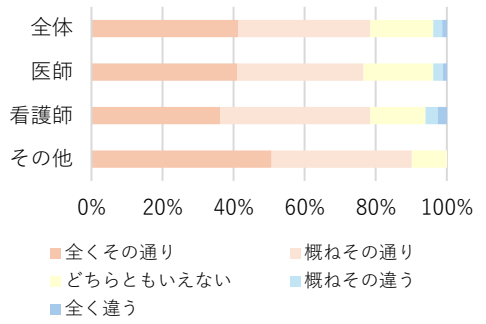
学会員を継続している理由



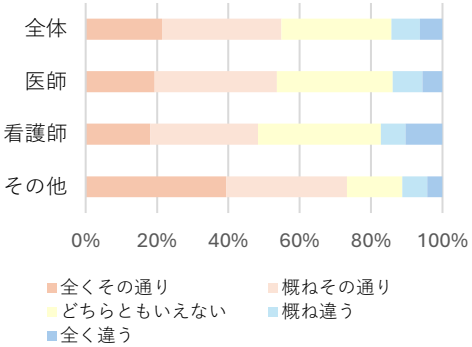
学会に何を求めるか



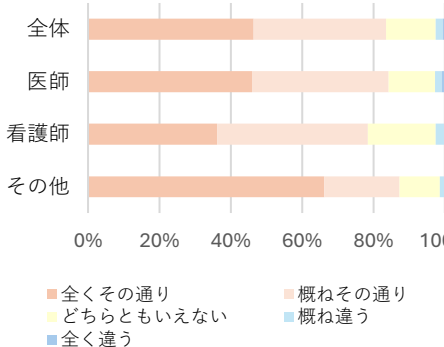
非医師会員が学会のWGや委員会に参加することは学会にとって有益か



今後 集中治療医学会で役割を今以上に持ち活動していきたいと思うか

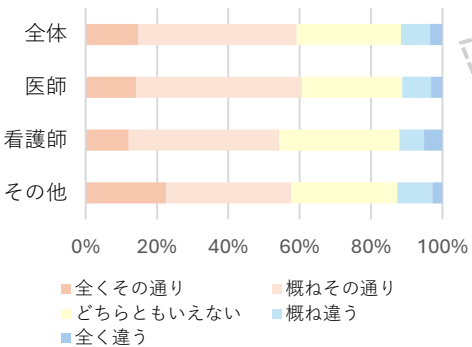


集中治療に関わる臨床業務を今後も継続していきたいか



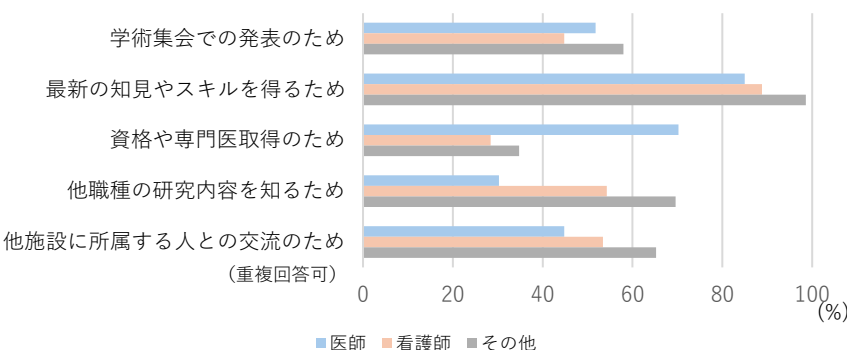
- <概ね/全く違う理由>
- ・ 人員不足等の問題があり集中治療部門の持続可能性に疑問を感じる
 - ・ 他の仕事に魅力を感じる
 - ・ 他分野も経験し対応できる分野を広げたい
 - ・ 体力的な問題
 - ・ 負担が大きい
 - ・ 世代交代等

学術集会に参加しやすいか

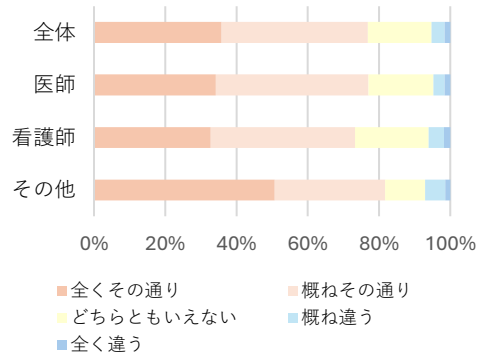


- <概ね/全く違う理由>
- ・ 人員不足
 - ・ 平日は出席しにくい
 - ・ 開催地が遠く日帰りできない
 - ・ 参加費が高い
 - ・ 遠方で旅費が高い
 - ・ 3月が退職者や異動者がおり、多忙な時期である
 - ・ 会場の交通の利便性が悪い
 - ・ オンライン参加に慣れ、現地参加しにくい
 - ・ 演題が多すぎて参加したいセッションが分かりにくい
 - ・ 託児所がない
 - ・ 小学生は託児所も受け入れがなく、連れていきにくい
 - ・ 男性医師も子育てをしていることへの理解が不足している
 - ・ 演題が通りにくい
 - ・ 職場の理解がない 等

学術集会に参加する理由は何か

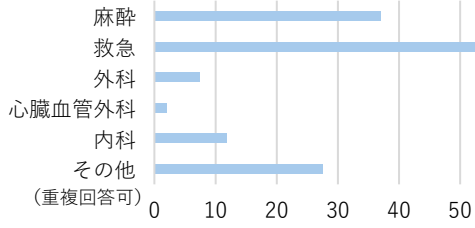


非医師会員が学術集会で座長や講演を行うことは学会にとって有益か

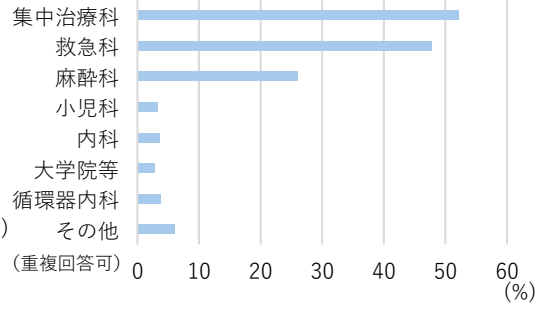


< 医師編 (n=445) >

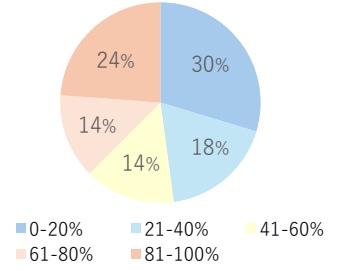
現在取得している専門医



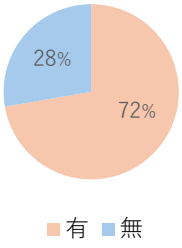
現在勤務している診療科



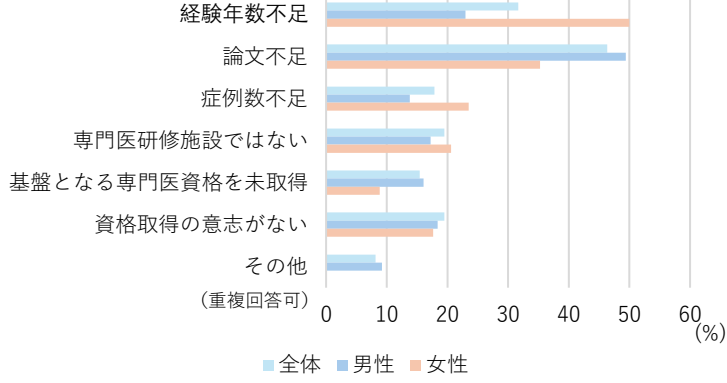
業務のうち集中治療に関与する時間の割合



集中治療専門医資格

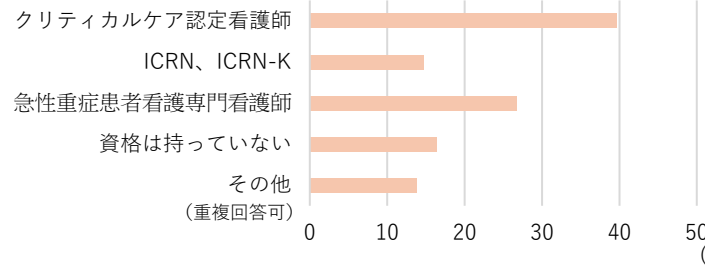


集中治療専門医未取得の理由

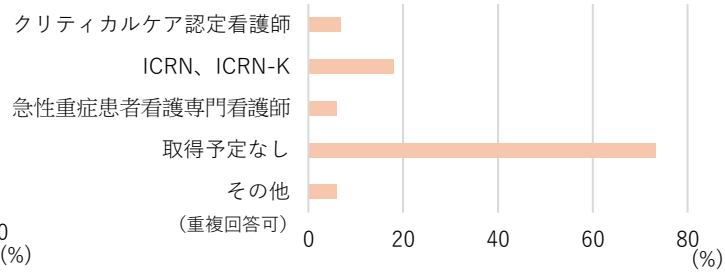


< 看護師編 (n=116) >

現在取得している資格

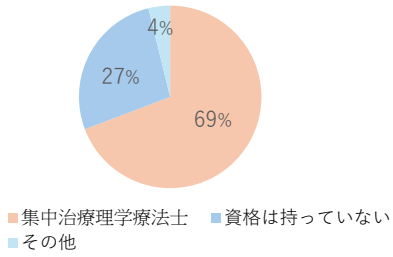


今後取得予定している資格

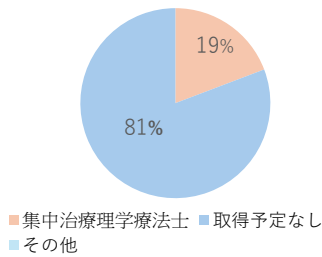


< 理学療法士編 (n=26) >

現在取得している資格

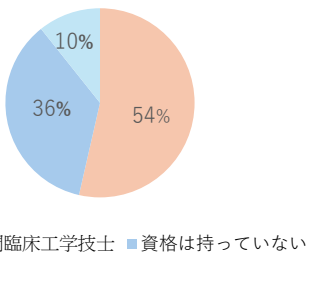


今後取得予定している集中治療に係る資格



< 臨床工学技士編 (n=27) >

現在取得している資格



今後取得予定している集中治療に係る資格

